

目次

はしがき

第1章 立憲主義と憲法改正——憲法を読み直す……… I

- 1 「改憲」論議の高まり——日本の立憲主義は危機にあるのか 2
- 2 憲法と立憲主義——国家と国民の関係 8
- 3 憲法制定過程の特徴——「押し付け憲法」論の真偽 14
- 4 憲法改正手続と国民投票の陥穽 27

第2章 平和と人権——憲法九条から平和的生存権を考える……… 37

- 1 憲法九条の解釈と運用の変容 38
- 2 戦後改憲論の展開 56
- 3 二〇一七年解散総選挙と憲法九条自衛隊追加論の問題点 65
- 4 「人権としての平和」と平和的生存権論の展望 81

第3章 家族と人権——憲法二四条・一三条から「個人の尊重」を考える………

107

- 1 世界の家族規定と二四条 108
- 2 憲法二四条の制定と「個人の尊重」 126
- 3 日本における男女共同参画の現状 141
- 4 最高裁判決からみる家族と個人 148
- 5 「個人の尊重」が保障される社会へ——残された課題 162

あとがき

主な参考文献

もとになった講演等一覧